

十字架の祭典または城の祭典

について



写真: João Paulo

毎年5月、モンサント（Monsanto）では、城の祭典（Festa do Castelo）としても知られる十字架の祭典（Festa das Cruzes）を祝い、包囲攻撃に対する地域住民の英雄的な抵抗を思い起こします。

言い伝えによれば、紀元前2世紀に住民が城に避難し、7年間ローマ人の包囲攻撃に抵抗しました。飢えで降伏することはないことを敵に納得させるため、食事の残り物を与えていたと彼らが主張する若い雌牛を山の斜面に投げることにしました。この戦略は攻撃者を欺き、包囲攻撃を終わらせました。

村の住民は、このエピソードを5月3日「聖なる十字架（Santa Cruz）の日」または次の日曜日に思い起こします。非常に色彩豊かな祭典の中、住民は城に登り、タンバリンの音に合わせて歌い踊り、壁の一番高いところにたどり着くと、若い雌牛を象徴する花で飾られた土器を投げ落とします。

日付は後日連絡予定